

第2章 健やか・安心・思いやりのまちづくり

策定の視点

▼高齢者が安心して暮らすこと
のできる福祉の環境づくり

全国的な規模で高齢化が進む中、本市においても高齢者人口の増加に伴い、介護や支援を必要とする高齢者も増加することが予想されます。高齢者が住み慣れた地域や家庭で、社会の一員として生きがいを持って安心して暮らすことができる地域づくりを、市民と行政が連携しながら構築していくことが必要です。



△敬老式典でシルバーハビリ体操(平成23年度)



△子育てサロンの七夕まつり(やまゆり館)

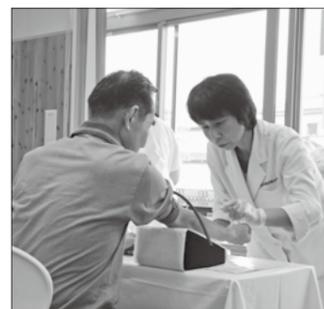
▼安心して子育てができる地域づくり

市街地では子育て世代の転入に伴う子育て環境の充実のニーズが高まっています。保育所、幼稚園、学校、職場、地域社会などが、それぞれの養育機能を充実し、相互に連携しながら、子育てに安心感が持てる環境づくりに取り組むことが急務の課題となっています。

▼医療環境の整った地域づくり

市民が安心して医療が受けられるよう、地域医療体制や救急医療体制の充実が望まれています。

す。そのため、拠点病院が立地する土浦市なども含めた広域的な地域の中で市民が医療を受けることができる環境の充実が必要となっています。



△地区健診で市民の健康管理を支援

重点プロジェクト

あんしん感UP
プロジェクト

○医療福祉制度の周知に努める
とともに乳幼児などに対する助成の充実を検討

○障害者が自立した生活が送れるよう地域生活支援体制を強化

作文コンクール作品《市長賞》

後期基本計画策定にあたり平成22年度に実施した作文コンクールの入賞作品を紹介します。
今回は、新治小学校6年生(当時の作品)を紹介します。

「私がかすみがうら市長になったら」

私がかすみがうら市長になったら、無駄なお金をけずりたいと思います。地域の人たちの税金を使って次のようなことをしていきたいと思っています。

第一に、お年寄りや子供のために人に優しいまちづくりです。なぜなら、かすみがうら市には大きな病院が無く、となりの土浦市や石岡市に行っています。市内に病院があれば急に具合が悪くなった時やけがをした時などにすぐにかかれるからです。それと病院のたらい回しを無くすることもできると思います。受け入れてくれる病院を増やし死者を少しでも減らすことができたいと思います。

第二に、環境づくりです。かすみがうらは農業がさかんです。でもそれを手伝う若い人が少ないことが問題です。農業は畑を耕したり、手入れをして出荷したりとても大変な仕事ですが、喜びも多い仕事です。若い人に魅力を持ってもらうように農業の街がかすみがうら市をアピールしていきたいです。地産地消も積極的に進めていきたいです。そして、教育にも力を入れます。自ら学校へ行き、生徒の目線に立ち一緒にいろいろ考えていきたいと思っています。最近、荒れている学校が多いので、授業態度などを観察し、良いところがあつたら見習って他の学校に役立てたいです。荒れている学校では、生徒と一緒に考え荒れている原因をさがします。荒れているのは、生徒自身がつらい思いをしているからだと思います。

そして、笑顔のあふれる自然豊かなかすみがうら市を作るために森林を学校などに増やしたいです。生徒達に森林の大切さを学んでもらい、木とふれ合ってほしいです。私の学校では、間伐材を使って遊具やコルクなど色々な物を作ったり、学校の活動で厚生労働大臣から表彰を受けました。なので森林の大切さを伝えていきたいです。私がかすみがうら市長になったら、このようなことをしたいと思っています。

○公立保育所の民営化を推進し、補助金や民間資本などを活用した施設整備を推進

後期基本計画の全文は、市ホームページに掲載しています。
トップ↓行政↓まちづくり計画

第2章「健やか・安心・思いやりのまちづくり」の体系と主な数値目標

指標	実績値		目標値	指標の考え方
	H22年度末	H28年度		
特定検診の受診率(%)	32.9	40.0		国の目標値50%と市の実績を踏まえ設定(受診者数/対象者数)
健康教室の参加者数(人/年)	1,161	1,300		健康教室への参加を推進し、健康への意識を高める。
国民健康保険料の収納率(%)	現年度88.45 滞納分16.65	現年度91.00 滞納分20.00		22年度県の目標現年度89%と市の実績を踏まえ設定(国保税収納額/国保税調定額)
後期高齢者健康診査の受診率(%)	20.96	23.00		22年度県の平均値15.34%と市の実績を踏まえ設定(後期高齢者健康診査受診者数/健康診査対象者数)
小児受給者証の交付率(%)	83.3	85.0		市の実績を踏まえた努力目標を設定(受給者証交付者数/受給対象者数)※非該当者含む
各種生活支援サービスの利用者数(人/年)	567	600		「食」の自立支援事業、緊急通報装置設置事業、福祉タクシーなどの実績を踏まえ努力目標を設定
自立高齢者の割合(%)	86	87		自立高齢者の減少傾向の中の努力目標
単体老人クラブ数(団体)	25	30		社会奉仕、生きがいづくり、介護予防などの活動のさらなる拡大に努める。
介護保険サービスの利用率(%)	87	92		介護保険サービスを多くの市民に利用してもらうための努力目標
訪問系・日中活動系サービスなどの利用人数(人/年)	114	153		訪問系サービス及び日中活動系サービスなどの提供数を毎年5%上乗せした目標値
就労支援の延べ利用人数(人/年)	29	35		実績を踏まえた各種就労支援延べ利用人数の努力目標値を設定
市内公立、私立保育所(7か所)での一時保育延べ実施日数(日/年)	944	980		実績を踏まえた努力目標を設定し、安心した子育て体制を支援
チャイルドシートなどの貸出(台)	16	100		貸出用チャイルドシートの保有台数の増加を見込んだ目標設定
公立保育所の民営化数(所)	2	4		民営化を目指す公立保育所の数
児童館来館者数(人)	67,572	71,000		多様なニーズへの対応や特色のある運営を推進し、来館者数の増加を目標に設定
民生委員・児童委員数(人)	87	90		担当エリアの再編及び市街地周辺への増員により福祉行政のさらなる推進を図る。
民生委員・児童委員定例研修会の開催回数(回/年)	11	11		定期的に研修会を実施し、必要な知識、技術を習得することにより、地域活動の充実を図る。
あじさい館内福祉館の利用者数(人/年)	71,602	72,700		実績を踏まえ毎月15人程度の増加を目標に設定
やまゆり館の利用者数(人/年)	47,131	52,000		実績を踏まえ1年間に概ね1,000人程度の増加を目標に設定
ボランティア団体数及び会員数(団体・人)	団体数20 会員数38	団体数23 会員数60		ボランティア団体数及び会員数の実績を踏まえ目標値を設定
ボランティア養成講座数(講座/年)	3	4		ボランティアの養成を図るため講座開催回数を増やす。
児童扶養手当の受給者数(人/年)	337	370		実績を踏まえ、児童扶養手当の受給者数の増加を見込む。
年金情報の「広報かすみがうら」への掲載回数(回/年)	12	12		国民年金制度の普及・啓発事業として、国民年金情報を市の広報紙に毎月掲載

第1節 健康づくりの推進

- [1]保健・医療
 - 1. 保健の充実
 - 2. 健康増進
 - 3. 医療体制の強化

[2]国民健康保険

- 1. 医療費適正化と保険財政の健全化
- 2. 高齢者医療制度の充実
- 3. 医療福祉制度の充実

第2節 高齢者福祉の充実

[1]高齢者福祉

- 1. 福祉施設などとの連携体制の強化
- 2. 高齢者の安全な環境の整備
- 3. 社会参加活動の促進

[2]介護保険

- 1. サービス提供体制の充実
- 2. 地域包括支援体制の整備
- 3. 質的向上の推進
- 4. 相談・支援体制の充実

第3節 障害者福祉の充実

[1]障害者福祉

- 1. 障害者自立支援の推進
- 2. 障害者の社会参加の推進

第4節 次世代育成の支援

[1]児童福祉

- 1. 保育サービスの充実
- 2. 子育て支援の充実
- 3. 児童福祉施設の整備充実
- 4. 児童の健全育成

第5節 地域福祉の推進

[1]地域福祉

- 1. 地域福祉意識の高揚
- 2. 地域福祉施設の充実
- 3. 福祉団体の育成

[2]ひとり親家庭福祉

- 1. ひとり親家庭福祉

[3]低所得者福祉

- 1. 適正保護と自立支援の推進

[4]国民年金

- 1. 加入と納付の促進